

TOLIC ものづくり連携コンソーシアム第4回カンファレンス **「東北発のデジタルヘルステックスタート！」**

日時:2017年7月8日(土) 13:00~16:00

場所:岩手大学理工学部テクノホール

主催:協同組合産業社会研究会経営者革新会議(IMS)

後援:第8回TOLICカンファレンス、岩手大学三陸復興・地域創生推進機構、盛岡市、
北東北ナノメディカルクラスター研究会、(地独)岩手県工業技術センター、
東北経済産業局、(公財)いわて産業振興センター、
INSいわてコーディネート研究会、東北CAE懇話会



◆講演 13:00-16:00

「みんなで作ろう未来の医療」

秋田大学大学院医学系研究科医学系専攻

呼吸器外科/食道外科/乳腺・内分泌外科 科長 教授 南谷 佳弘氏

医療は日々進歩している。近代まで、新しい医療の多くは医師が開発を担っていた。しかし、現代の医療機器や薬剤は高度な工学系技術と知識でなりたっているため、医師だけで開発することは不可能である。むしろその担い手は工学系技術者や工学者である。その中で医師はニーズを提供する側となっている。講演では、私達のグループ(医師、技術者、企業)で、いかにして新しい医療を作ったかをお話したい。

「ヘルステック:プライマリケアが与えるパラダイムシフト」

セルスペクト株式会社 代表取締役 岩渕 拓也氏

同 研究開発部部长 江面 知彦氏

医工連携が注目され、やがてデジタルエンジニアリングが融合された技術、即ちヘルステックが生まれた。ヘルステックは病気に罹っているか否かに関係なく、一般コンシューマーと医療との距離をより身近にしていける。これは各個人に対するきめ細かいケアへつながる点でプライマリケア医療の一つの形態と言える。近い未来、ヘルステックの進歩はプライマリケアの可能性を広げるばかりではなく、私たちの暮らしに大きな影響を与える。本会では、ヘルステックの事例と、これに使われる新たな医学シードのポテンシャル、さらに、新たに生み出される社会構造について会場の皆様と考えたい。

◆懇親会 16:30~18:30 岩手大学中央食堂(019-652-2229)
会費3,000円